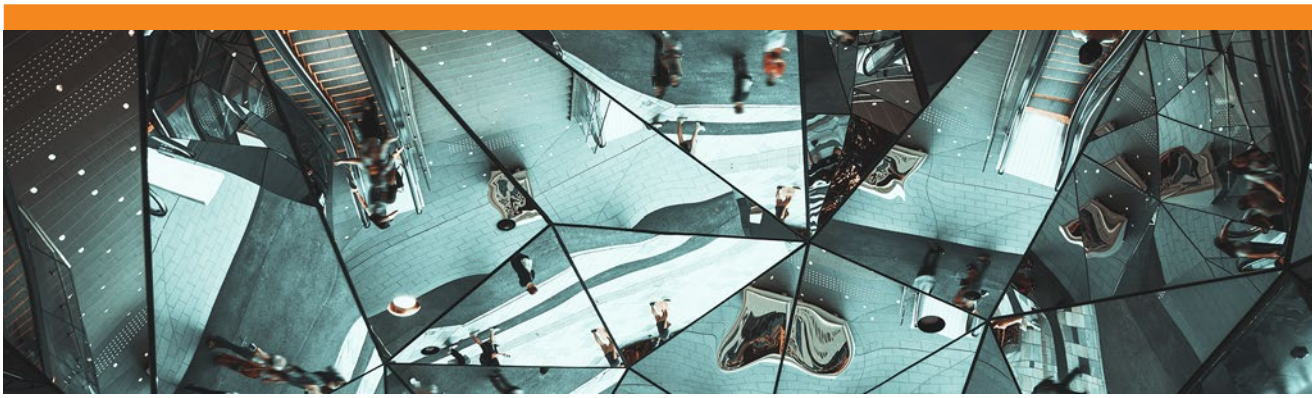
protiviti®
Global Business Consulting



サイバーセキュリティ監査サービス

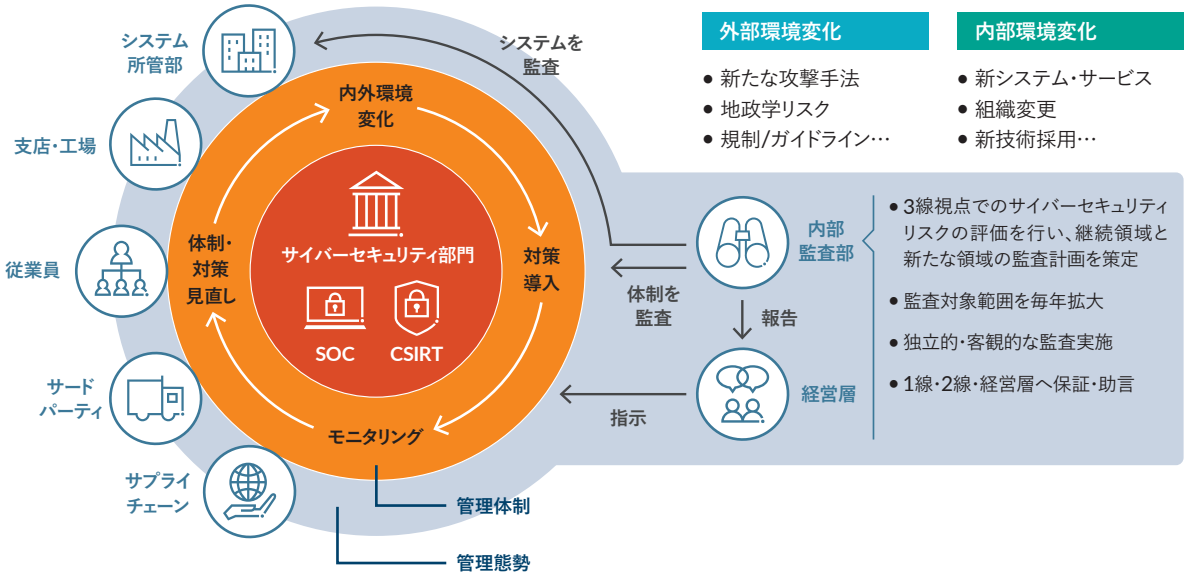
サイバーセキュリティリスクに応じた監査計画とアプローチを提案し経営に資する保証と助言を行うための監査を支援します。

サイバー攻撃の脅威は深刻化しており、企業の被害についても連日のように報告されています。情報漏洩やデータの破壊、システム停止はビジネスに深刻な影響を及ぼすため、サイバーセキュリティ対策は、どの企業においても重要な経営課題の一つに挙げられています。セキュリティ部門は、既存システムの脆弱性対応に加え、新規システムやサービス利用への対策導入、サードパーティやサプライチェーン、顧客にまで広がりを見せるサイバー攻撃への対処を担います。多くの企業においては、サイバー人材は逼迫し、限られたリソースでの対応となっているにもかかわらず、攻撃手法や対象に変化が生じるたびに体制や管理方法の見直しに迫られています。

このような経営課題を解決するためには、当然ながらセキュリティ部門である2線だけではなく、1線、3線、経営層が当事者意識を持ち、全社的な態勢を構築することが不可欠です。

3線である内部監査部門は、サイバーセキュリティ管理態勢の一部として牽制機能の発揮が要求されます。2線とは異なる視点でサイバーセキュリティリスクを評価し、リスクベースの監査計画策定と、客観的・独立的・専門的な検証を通じて、1線や2線への助言と保証、経営が適切な判断を行えるよう報告することが求められます。

サイバーセキュリティリスクへの3線の役割



サイバーセキュリティ監査の主な支援メニュー

1. サイバーセキュリティリスクアセスメント支援

国内外のガイドライン、脅威事例等の外部情報、およびお客様のビジネス変化、対策状況の情報を収集し、サイバーセキュリティリスクを特定、サイバーセキュリティ対策やプロセスとマッピング・評価し、中長期監査計画を策定を支援します。

2. サイバーセキュリティガバナンス監査

サイバーセキュリティのガバナンス領域を対象に監査項目を策定し、経営層の取組や組織・体制、多層防御策、サイバーBCP/SCP、教育・訓練等幅広い領域を対象に監査を支援します。

3. サイバーセキュリティスタンダードガイドライン監査

監査テーマに応じて、CIS Controls、SSDF等の国内外のサイバーセキュリティ対策のベストプラクティスから、外部接続システムやクラウド、メール・Web・リモートアクセス等の技術的対策や管理統制の監査手続を策定し、往査を支援します。

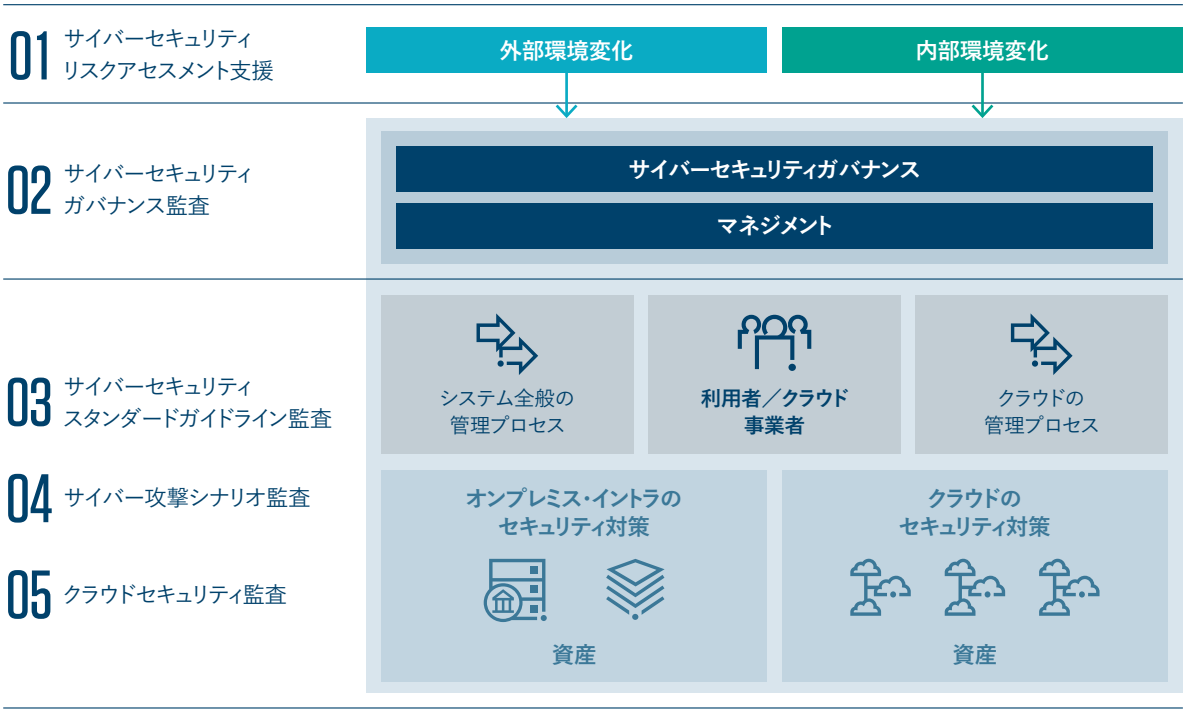
4. サイバー攻撃シナリオ監査

プロティビティの脅威モデル、IPA情報セキュリティ10大脅威、MITRE ATT&CK等の国内外の攻撃事例から攻撃シナリオを作成し、フィッシングやVPNを入り口としたマルウェア攻撃、開発や保守運用のサードパーティを通じた侵入等に対する対策の監査を支援します。

5. クラウドセキュリティ監査

SaaS/PaaS/IaaSのサービスパターンやクラウド事業者の特性に応じ、クラウドのセキュリティ管理プロセス、クラウドの設定状況を対象として監査手続を策定し、往査を支援します。

サイバーセキュリティ監査の支援の対象



プロティビティについて

プロティビティは、企業のリーダーが自信をもって未来に立ち向かうために、高い専門性と客観性のある洞察力や、お客様ごとに的確なアプローチを提供し、ゆるぎない最善の連携を約束するグローバルコンサルティングファームです。25か国、90を超える拠点で、プロティビティとそのメンバーファームはクライアントに、ガバナンス、リスク、内部監査、経理財務、テクノロジー、デジタル、オペレーション、人材・組織、データ分析におけるコンサルティングサービスとマネージドソリューションを提供しています。プロティビティは、米国フォーチュン誌の働きがいのある会社ベスト100に10年連続で選出され、Fortune 100の80％以上、Fortune 500の約80％の企業にサービスを提供しています。また、成長著しい中小企業や、上場を目指している企業、政府機関等も支援しています。プロティビティは、Robert Half（NYSE：RHI）の100％子会社です。

プロティビティLLC　protiviti.jp

東京都千代田区大手町 2-6-4 TOKYO TORCH 常盤橋タワー24F
大阪府大阪市北区梅田 3-2-123 イノゲート大阪9F

PJG2412P

protiviti®